

先月号の「あれこれ」では
森林工芸館で働く
「販売員さん」についてご紹介しました
今月号では
オケクラフトの情報発信について
昨年度より地域おこし協力隊として
森林工芸館やオケクラフトの情報発信を担う
協力隊員の活動についてご紹介します

オケクラフトの 情報発信

必要な情報を伝えるために担当者が意識していることや、文字だけの情報で誤解が生まれないように注意していることなど、直接相手が見えない中でのやりとりを丁寧に行う重要性について、今回は情報発信を担う【地域おこし協力隊の盧 俐安（ロ リアン）さん】に「情報発信のあれこれ」についてお話を聞きました。



OKE
CRAFT
オケクラフト

Q1 地域おこし協力隊員として森林工芸館の情報発信を担う盧俐安さんについて教えてください

answer



地域おこし協力隊 盧 俐安

2020 年から 1 年間、東川町にある日本語学校で学び、2021 年 10 月より地域おこし協力隊として置戸町に来ました。

置戸町で募集された地域おこし協力隊の職種では、オケクラフトのプロモーションの他、観光に関する発信や youtube の企画などに興味を持ちましたが、現在はオケクラフトの情報発信・プロモーションをメインに活動をすすめています。



情報発信ではどんなことをしていますか？

Twitter、Facebook、Instagram 等、SNS を活用した情報発信を主としながら、HP では【リアンブログ】や【ショップだより】を記事投稿しています。

リアンブログでは、オケクラフトについて感じたことを自分の言葉で表現しています。ショップだよりでは、元々販売員の方が担っていたところに参加する形で、催事などの記事を投稿しています。ショップだよりは公式という意味合いがあるため、少しかしこまった表現をしています。リアンブログやショップだよりは SNS でも同じ記事を投稿しています。

この他、催事や HP、オンラインショップなどで宣伝用に使用される商品の写真撮影も行います。



↑【リアンブログ】



↑【ショップだより】

Q2 【情報発信】をする際に気をつけていることはありますか？

answer

Instagram など短時間でぱっと情報を得るようなコンテンツでは、ひとつの記事に載せる文章量に注意しています。あまり長いと最後まで読んでもらえなかったり、そのせいで肝心なことが伝えられない。ということが起きないように気をつけています。

その他、文章から伝わる書き手のテンションや言葉の表現方法など、掲載するそれぞれのコンテンツに合うものを選択して伝えるようにしています。

Q3 【これからやっていきたい】ことについて教えてください

answer

日本語での商品紹介と合わせて、英語での商品紹介をつけ、記事をあげる頻度を増やしていきたいと考えています。その際、単に日本語の翻訳ではなく、生活文化や食器文化の異なる人たちが商品の紹介を見て理解できるように、日本の文化についても解説を加え、これまで対象とならなかった人たちに向けても興味を持ってもらえたらと考えています。

その他、オンラインでのイベントや映像を用いた情報の発信など、これまでとは異なる方法での情報発信にも今後、挑戦していきたいです。

Q4 情報発信者として感じるオケクラフトの魅力はどんなものですか？

answer

仕事柄、オケクラフトを購入された方の感想や関連する SNS 等の投稿を見ることが多いのですが、商品名にとらわれず、自由に使用されている方が多いことに気づきます。様々な使い方を器から導き出せることは、食器としても魅力的だと感じます。オケクラフトの生みの親である秋岡芳夫さんが実践されていた「一器多用」が、オケクラフトでも実践されていることに商品としての魅力を感じます。



ひとつとして同じものがない。自然の素材を材料として製作されるオケクラフト。

情報発信を担う私たちにとって **【オケクラフトの魅力を誰よりも理解すること】** が最も重要となります。